

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	帯広児童養育センター		
○保護者評価実施期間	R7年11月5日		～ R7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数) 70世帯
○従業者評価実施期間	R7年12月8日		～ R7年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育後に保護者とお話の時間を頂いています。親子療育や、療育場面の振り返りをさせて頂き、お子さんの関わりを一緒に考えさせて頂いています。	・親子療育に参加して頂き、又、マジックミラー越しに療育を見て頂ける環境があります。又、必要に応じて(療育後のお話の時間以外にも)、面談の時間を頂いています。	・ご家庭や、外出先の様子、保育所、幼稚園等の集団での関係機関の様子を伺い、必要に応じて今後も電話連絡等させて頂きます。
2	・活動スペースの広さを利用して、大型遊具(エアートランポリン等)で身体を動かす等、内容に応じて、部屋を変え、療育を展開しています。	・お子さんの様子や、活動内容に応じて部屋を変える様に心掛けています。	・お子さんの興味や発達状況、保護者のニーズを伺いながら、療育内容のバリエーションに工夫をしていきます。
3	・就学を迎える年長児さんについては、入学先の学校へ引継ぎを行っています。	・養育センター以外の場所(保育所、幼稚園、外出先等)での様子を把握し、共有させて頂き、新しい環境でスタート出来る様に話し合いをさせて頂きます。	・保護者や、お子さんのニーズも把握しながら、就学先への引継ぎを今後も行っていきたくと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会が少ないです。	・地域の公園や、公共施設等で、子ども達と同じ遊具を使用する等の活動の機会が少ない。	・機会がある時に、職員と一緒に、子ども同士のやり取りに繋げていきます。
2	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の研修を行っていませんが、親子療育や、保護者の方とお話の時間を頂く等を行っています。	・研修ではなく、親子療育を行う事や、マジックミラー越しに療育を見て頂く中で、場面を共有しながら、関わりについて一緒に考えさせて頂いています。	・保護者のニーズを把握していきます。
3	・父母会の活動については行っていませんが、保護者の方々や、きょうだいと待合室で製作を行う等、保護者同士の交流を行っています。	・保護者同士、きょうだいで交流や活動について、保護者のニーズについて充分、把握出来ていない事が要因と考えられます。	・ニーズを把握し、待合室での製作等の回数や、内容についても検討したいと思います。